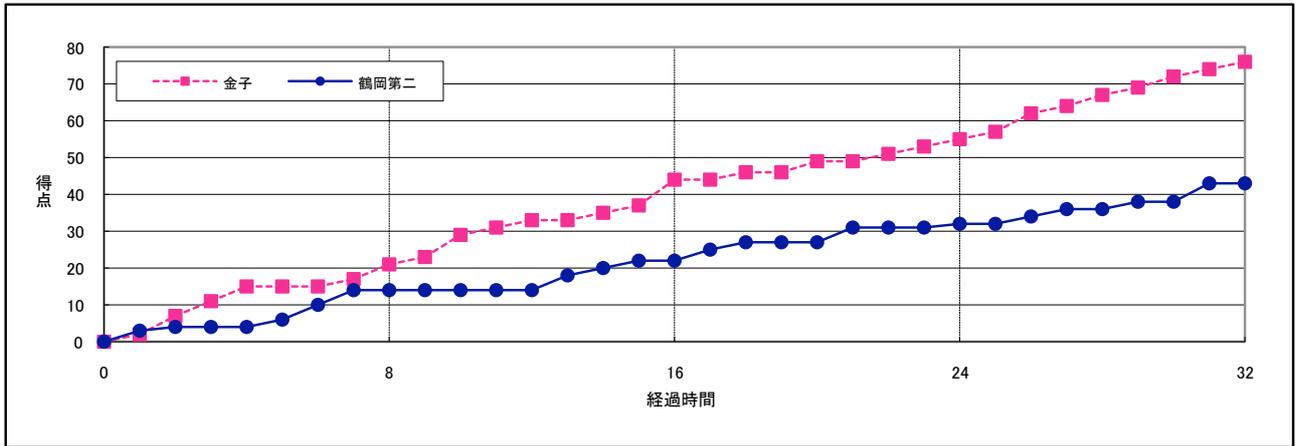


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 女子 Eコート第2試合 決勝トーナメント1回戦																							
日時	8月21日(金)		10:50 ~																					
会場	サンアリーナせんだい																							
結果	金子 埼玉	76	<table border="0"> <tr><td>{</td><td>21</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>{</td><td>23</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>{</td><td>11</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>{</td><td>21</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>{</td><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	{	21	1st	14	{	23	2nd	8	{	11	3rd	10	{	21	4th	11	{		OT		鶴岡第二 山形
{	21	1st	14																					
{	23	2nd	8																					
{	11	3rd	10																					
{	21	4th	11																					
{		OT																						
審判	主審 恩地 孝明		副審 福原 快顕																					



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

金子							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	増岡 加奈子	×	24	0	10	4	3
5	上原 もなみ	×	8	1	1	3	4
6	上原 美鈴	×	12	1	3	3	4
7	増岡 春香	/	18	0	8	2	0
8	照井 祐菜	×	11	1	3	2	3
9	野口 桃花	/	3	1	0	0	1
10	坂井 美沙紀	/	0	0	0	0	1
11	斉藤 愛理	×	0	0	0	0	1
12	上原 彩花						
13	浅見 淳奈						
14	木村 有希						
15	秋元 真有						
16	土屋 夏希						
17	増岡 里恵						
18	日高 有風						
監	大谷 伸司						
C							
合計			76	4	25	14	17

鶴岡第二							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	大沼 千尋	×	13	0	6	1	0
5	佐藤 奈央	×	6	0	3	0	3
6	齋藤 沙織	×	12	0	5	2	3
7	奥田 琴子	×	5	0	1	3	4
8	沼沢 聡美	×	2	0	0	2	3
9	阿部 怜子	/	5	1	1	0	1
10	工藤 幸奈	/	0	0	0	0	0
11	菅原 千佳						
12	伊藤 希美						
13	阿部 奏子						
14	原田 ひより						
15	菅原 佳子						
16	園部 あすか						
17	加賀山 瑞希						
18	佐藤 憂里香						
監	村井 弘幸						
C	五十嵐 美佐子						
合計			43	1	16	8	14

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、金子は、オールコートマンツーマンディフェンス、鶴岡第二は、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、金子の#6の2Pシュートで先制。一方、鶴岡第二は#6の2Pシュートで得点する。その後、鶴岡第二にミスが続く、金子の#4、#5が連続ゴールを決める。鶴岡第二も#6、#7を中心にゴール下のプレイで得点を重ねるが、結局、金子21-14鶴岡第二で第1P終了。
第2P、立ち上がりから金子が5連続ゴールを決め、鶴岡第二はタイムアウトを取る。しかし、流れを変えることができず、鶴岡第二は4分間ノーゴールが続く。しかし、リバウンドからリズムをつくり#6のゴール下のプレイ、#4のドライブインで点差を縮める。一方、金子は、#4を中心に着実に得点を決め、金子44-22鶴岡第二で金子の22点リードで前半終了。
第3P、開始早々、鶴岡第二が#4、#8のゴール下プレイで金子のファールを誘い、立て続けにゴールを決める。しかし、金子は#7のミドルシュート、#9の3Pシュートなどで反撃を許さず、金子55-32鶴岡第二で3P終了。
第4P、鶴岡第二は2分間ノーゴールが続く、苦しい立ち上がり。一方、金子は#8の3Pシュートや#7のミドルシュートで着実に得点を重ねる。鶴岡第二は、#6のゴール下のプレイや#9の3Pシュートなどで反撃するも、金子はオフェンス、ディフェンスともに要所を締めるプレイをし、結局、金子76-43鶴岡第二で金子が勝利し、ベスト8へ進出した。